

小学校

「全国学力・学習状況調査」豊田市の状況について 令和8年度の結果から

本調査は、児童の学力や学習状況を把握し、その結果を今後の教育活動に役立てていくことを目的としています。令和8年度の結果から分かる児童の状況を報告します。

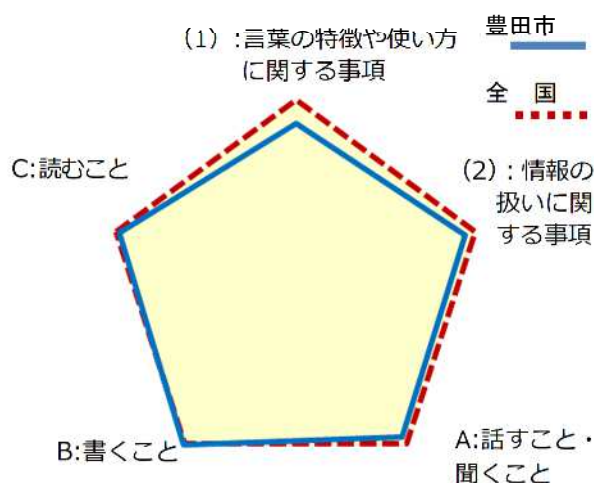
【調査の概要】	調査実施日	令和8年4月23日（木）
	調査対象	小学6年生 75校
	調査事項	教科に関する調査（国語・算数） 質問調査（学習・生活）

教科に関する調査の結果

< 国 語 >

全国平均よりも低い結果でした

【全国の平均正答率*との比較】



【こんなところできています】

- ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる（B）
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる（C）

【こんなところが課題です】

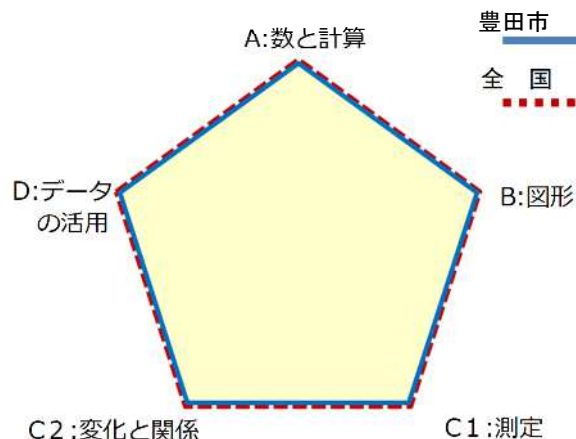
- ・比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる（1）
- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる（2）

(A) 話すこと・聞くこと (B) 書くこと (C) 読むこと
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
(2) 情報の扱い方に関する事項

< 算 数 >

全国平均とほぼ同じ結果でした

【全国の平均正答率*との比較】



【こんなところできています】

- ・示された基準を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間をもとめることができる（A,C）
- ・小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることのできる（A）

【こんなところが課題です】

- ・単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えることができる（A）
- ・立方体の体積の計算による求め方について理解している（B）

(A) 数と計算 (B) 図形 (C1) 測定
(C2) 変化と関係 (D) データの活用

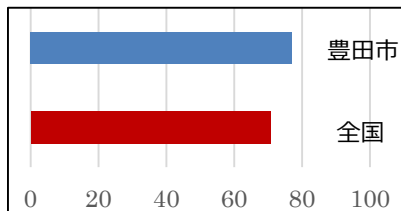
*正答率…テストを100点満点に換算した数値

グラフは全国平均を100としたときの、豊田市の数値を表しています

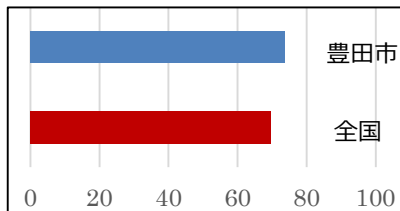
学習および生活状況に関する質問調査の結果

<よい傾向>

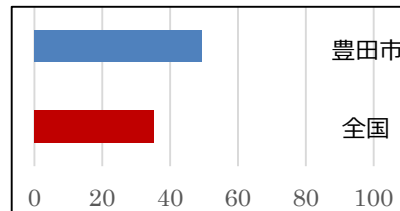
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる



自分の学級では、人と違う意見を言っても否定されない



昼休みや放課後に、本（教科書類、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館に行く

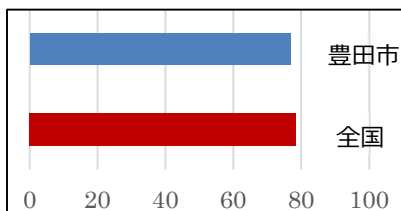


<上記以外の傾向>（全国平均と比べて、よい傾向）

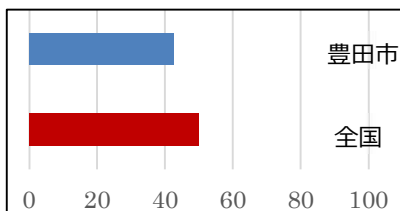
- ・自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる
- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる

<改善を要する傾向>

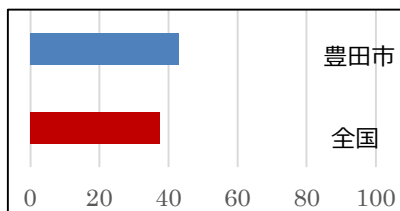
学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強している（塾・家庭教師・インターネットを含む）



普段（月曜日から金曜日）、1日当たり3時間以上スマートフォンやパソコン、タブレット、テレビ等でSNSや動画視聴などをする



<上記以外の傾向>（全国平均と比べて、改善を要する傾向）

- ・PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができる

つながりの中で、誰もが学び合いながら、自分らしく豊かな人生を切り開くために

豊田市では

- ・学ぶ楽しさを感じながら、自分らしく学べる授業づくりと環境の整備を進めます
- ・子どもたちの主体性や自ら考え判断する力を伸ばす探究的な学びを大切にしながら、自他を尊重し思いや考えを伝え合う活動を進めます
- ・家庭・学校・地域が連携し、地域全体で子どもの学びを支える地域ぐるみの教育の実現に努めます

学校では

- ・様々な資料から、気づいたことや考えたことなどを伝え合い、協働的に学びます
- ・学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を振り返り、次時の授業や他教科での学習とのつながりを意識した授業づくりを行います

家庭では

- ・学校での生活や学習について、お子さんの話を聞く時間を大切にしましょう
- ・SNSや動画の視聴等ICT機器のよりよい使い方を確認しましょう
- ・生活習慣を整え、家庭学習の内容などをお子さんと一緒に考えましょう